

ナイジェリアでラッサ熱が発生

2011年2月23日 ProMED 情報(The Compass Newspaper)



エボニ Ebonyi 州の州都アバカリキ Abakaliki で、少なくとも 1 名のラッサ熱による死亡者が確認されました。また、確認はされていませんが、さらに 3 名が兵營で死亡したとのことです。同州での最初の患者発生は 2008 年で、この時医師 2 名と保健関係者を含む数名の死者が発生しました。その他、同じ兵營の 1 名がラッサ熱の診断でエボニ大学病院で治療を受けています。病院では、患者と接触のあった住民や医療従事者の血液を調べたところ、数名で陽性が出ました。住民には、住居周辺を清潔にし、ネズミとの接触を避けるよう呼びかけています。

〔ProMED 調整者〕

ラッサ熱は、西アフリカ諸国で流行する風土病で、感染しても 80% は症状が出ません。しかし、重症化すると多臓器不全で死亡します。自然宿主であるげっ歯類の一種であるマストミスの直接的な接触や尿を介してヒトへ感染します。